

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所  
第 13 期(2012 年 7 月～2013 年 6 月)通常総会  
議案書

- ・第1号議案 第12期(2010年7月～2011年6月)事業報告
- ・第2号議案 第12期(2010年7月～2011年6月)決算報告
- ・第3号議案 第13期(2011年7月～2012年6月)事業計画
- ・第4号議案 第13期(2011年7月～2012年6月)予算計画

日時:2012年8月26日(日)18:00～19:00

場所:はまどま(横浜市南区宿町2-40-119)

## 第 1 号議案 第 12 期事業報告 (2011 年 7 月～2012 年 6 月)

第 12 期は、定例の自主活動をベースにして、新しい試みを少しずつ実施できた。ヤマ事業のうち「NORA の山仕事」では、「利用する森」のコンセプトを具体化するために、間伐材を有効に利用できるように規格を定めた。また、助成金を獲得して移動式の簡易製材機を入手し、市内の森づくり団体が間伐材の製材・利用に取り組めるようにする普及活動をおこなった。さらに、除間伐や下草刈りのような森との関わり方に加えて、身近にある森の恵みを楽しむ方法も開拓するために、ボランティアの参加形態を「ガッツリ系」と「和み系」に分けて募集するという新しい展開もあった。また、「山道具の安全使用」として、チェーンソーや消耗品の販売事業も始まった。ムラ事業では、2011 年 4 月に開始した「休耕地再生で農体験」が 2 年目を迎え、収穫体験と畑での食事を楽しみたいというニーズに応じて、親子などのグループ参加の受付を始めるなどの展開があった。また、下川井農地は、「NORA の山仕事」にともなって生じた間伐材の利用を図る場としても機能しており、ヤマとムラをつなぐ場として重要性を増している。一方、ムラ事業を主導している「はまどまプロジェクト」では、「NORA 野菜市」「神奈川野菜の食事会」をはじめとした定例活動を続けながら、「身近な薬草でセルフケアワークショップ」「手芸で遊ぼう」など外部の関係者の協力を得た活動もおこなったが、軌道に乗せるのに苦労している。「朗読の夕べ」は「お話の会～はまどま劇場～」へ、「野を描く」は「筆で描く」と移行しながら試行錯誤を続けているが、「はまどま」の経営状態を改善するには至っていない。こうした中であって、「もったいないから竹細工」は参加者数を増やし、リピーターの方が地域イベントへの協力や「竹を活かす山仕事」の参加へと繋がるなど、着実な広がりを見せている。ハレ事業としては、2012 年 1 月 22 日に設立 10 周年記念フォーラム「横浜発・里山がつなぐ地域と未来～まち・むら・子ども」を開催した。これまでの活動成果をふりかえるとともに、現在の活動の様子を会員・関係者が共有する良い機会となった。広報事業では、定期的なウェブサイトの更新、メルマガの配信、さらに前期から始めた twitter に加えて、facebook による広報も開始した。一方、受託事業においては、当初の事業計画に含まれていなかった「バングラデシュ国南東部地域開発情報収集・確認調査」を受託したために、収益構造が改善された。今後、NORA は会員有志による受託事業の受け皿としても生かされるようにしたい。

総じて、第 8 期からの組織改革が軌道に乗って安定期にあると言えるが、中心的な役割を担うスタッフの減少、関与できる度合いの低下は、ますます顕著になっている。持続的な組織運営や事業推進を図るためには、新たな人材の巻き込んでいくことが求められる。そのためには対外的な広報と、対内的には環境整備が必要であろう

### 自主事業

#### 里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

##### 1. ヤマ事業

1) NORA の山仕事（横浜市樹林地管理団体活動助成事業、平成 23 年度横浜市みどりの夢かなえます事業）

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）をフィールドに、「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくとともに、森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する活動をおこなっている。毎月第 2・第 4 日曜日の定例活動日に作業を実施した。

第 12 期は、間伐した丸太の保管規格（製材用：φ20cm 以上長さ 3m、薪材用：φ20cm 以下 長さ 12cm）をメンバー間で再認識し、間伐材の有効活用の準備を整えることができた。のべ 233 名の参加者があり、平均参加人数は 10 名を維持している。また、2012 年 5 月からは、ボランティアが参加する際に「ガッ

ツリ系」と「和み系」のどちらかを選択できるようにして、山仕事に汗を流そうとする人に加えて、森の中でゆったりと自然の恵みを楽しもうとする人も巻き込みながら、「利用する森」の可能性をさらに開拓しようとした。

さらに、平成23年度の横浜市「みどりの夢かなえます事業」として、「森づくり団体の製材お助け作業」を提案し採択された。これは、間伐材の処理に困っている森づくり団体からの求めに応じ、移動型の製材機を現地に運び込んで、製材作業の指導や実施をおこなうものである。この事業として、3団体から製材の依頼があり、それぞれの活動場所（舞岡公園、桜ヶ丘トラスト緑地、谷矢部池公園）に向向いて製材事業を実施した。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/10 (日)	栗林床林整理、物置小屋作り、畑の草刈り、収穫	11	1
7/24 (日)	栗林床林整理、物置小屋作り、畑の草刈り、収穫	13	1
8/14 (日)	物置作り、栗林草刈り	9	1
8/28 (日)	物置づくり、小麦畑草刈り、午後：間伐材マネジメント研修参加	11	1
9/11 (日)	林内散策、ロゴソール（林内研修）	6	1
9/25 (日)	台風被害状況確認、コナラ移植	10	1
10/9 (日)	クヌギ苗移植（デッキ2横、林道入口斜面）	10	1
10/23 (日)	掛木危険木伐倒、ロゴソール製材練習	6	1
11/13 (日)	掛木伐倒、間伐木選別、薪材玉切り、畑集草、物置整理、スチール棚加工	8	1
11/27 (日)	掛木処理、ウィンチ運材、薪材玉切り、製材練習	9	1
12/11 (日)	間伐（2本/境界木）、掛木処理、ウィンチ運材	8	1
12/25 (日)	掛木処理、ウィンチ運材	11	1
1/8 (日)	間伐（4本/境界木）、林床整理、休憩ベンチ作り、	7	1
1/22 (日)	10周年フォーラム参加	11	1
2/12 (日)	間伐（9本）、林床整理（間伐材片付け）、チップパー支援	8	1
2/26 (日)	間伐（8本）、林床整理・運材（間伐材片付け）、チップパー支援	8	1
3/11 (日)	間伐（9本）、林床整理（乱積み材玉切り&搬出）、ホダ木引取り	6	1
3/25 (日)	林床整理（乱積み材玉切り&搬出）、14:00～畑で椎茸菌駒打ち	7	1
4/8 (日)	葉枯らし間伐材の玉切り、運材	4	1
4/22 (日)	間伐材玉切り、運材、乱積み丸太玉切り、積載	7	1
5/13 (日)	間伐材運材、乱積み丸太玉切り、和み系プログラム	12	1
5/27 (日)	畑フェンス施工、フキ・タラ定植、栗林草刈り、小麦畑草取り	7	1
6/10 (日)	メッシュフェンス、小麦の収穫と掛け（～18:00）	10	1
6/24 (日)	植林地（草刈り/櫻井邸裏&外周道路沿い）、和み系	10	1

209

24

## 2) 竹を活かす山仕事（平成23年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金）

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大して、農耕地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、月に1回、中井町でお世話になっている農家の竹林を整備した（2011年7月は伊勢佐木町キャンドルイベン

ト出展準備、8-9月は畑仕事、12月は大岡川アートプロジェクト参加、2012年5月は畑ごはん実施のため中止とした)。伐出した竹材は、竹細工、竹燈籠、素麺台の材料として活用した。第12期は「竹細工教室」のリピーターによる参加が目立った。他の事業のために中止になることもあったが、のべ19名の参加者があった。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
10/16 (日)	竹伐りだし	2	1
11/30 (水)	材の伐りだし	1	1
1/21 (土)	竹伐り出し (支柱用18本、ヒゴ用4本、尺八製作用)	3	1
2/19 (日)	材の切り出し 間伐作業	3	1
3/24 (土)	材の切り出し 間伐作業	3	1
4/30 (月祝)	筥掘り 間伐作業	6	1
6/16 (土)	材の伐り出し (雨のため12:00まで)	3	1

21 8

### 3) 山道具の安全使用

2011年6月に、株式会社シンコー社とサブ店契約を結んだ。NORAがチェーンソーメーカー(スチールSTIHL)の代理店業務を担うことにより、動力工具の安全な使用方法の推進や、安全な伐倒実技講習などへの参加を推奨することが可能になり、より安全性を高めた緑地保全活動の啓発をすすめられるだろう。第12期の実績として、複数の団体や個人へチェーンソーおよび消耗品類を販売した。

### 4) 『ミルマップ・ワークショップ!～みんなで描く森づくりプラン』の普及・頒布

2010年に森づくりのための小冊子『ミルマップ・ワークショップ!～みんなで描く森づくりプラン』(A4版48頁フルカラー)を1,000部刊行し、これまでに協力していただいた個人・団体等に贈呈、横浜市に100部寄付し、残りは1冊500円(送料別)で頒布した。在庫が残り少なくなり、増刷を検討したが、一時的にでも印刷費用をNORAが全額負担することは困難なため、100部単位(送料込みで48,000円)で購入希望者をHP等で募集しているが、希望者はなく、増刷に踏み切れていない。

### 5) よこはま里山レンジャーズ (平成24年度横浜市みどりの夢かなえます事業)

若い世代が市内の民有樹林地の保全活動に参加できるように、支援システムを整備する「森づくり団体の作業お助け整備事業」を提案し、横浜市の「みどりの夢かなえます事業」として採択された。この事業は、認定NPO法人自然環境復元協会と連携を図りながら、市内6ヶ所の樹林地でボランティアが里山保全活動に参加する仕組みを構築していく。事業の開始は、2012年7月以降となる。

## 2. ノラ事業

### 1) 休耕地再生で農体験

「ヨコハマで農業体験」でお世話になっている生産者と「農地維持管理契約書」を結び、旭区下川井町にある農地7反を管理している。また、この事業への協賛者を募り、管理している農地で野菜の育成や収穫も継続的に実施した。この農地は、「NORAの山仕事」で伐出された間伐材を有効活用する場ともなっている。第12期は、原則、毎週火曜日・木曜日を実施し、収穫体験の受入等のべ241名の参加者があった。なお、収穫体験と畑での食事を楽しみたいというニーズに応じて、1日1組限定(5名以上)

の予約制で「メシませ！畑ごはん」と称して参加者の募集を始めた。

実施月	のべ日数	活動内容	参加人数	スタッフ
7月	8日	夏野菜の収穫および管理作業、草刈り、	10	8
8月	9日	夏野菜の収穫および管理作業、草刈り、冬野菜準備	17	9
9月	9日	夏野菜の収穫および管理作業、草刈り、冬野菜準備	38	9
10月	8日	冬野菜準備、夏野菜の片付け、栗拾い体験受入	37	8
11月	11日	冬野菜の収穫および管理、芋掘り体験受入	54	11
12月	8日	冬野菜の収穫および管理、小麦の種蒔	20	8
1月	8日	冬野菜の収穫および管理、春野菜準備	14	8
2月	7日	春野菜管理、栗の木剪定	13	7
3月	7日	春野菜の収穫および管理、椎茸の菌駒打ち実施	15	7
4月	6日	春野菜の収穫および管理、草刈、栗の木移植など	17	6
5月	7日	春野菜の収穫、夏野菜の定植準備、草刈り	47	7
6月	7日	夏野菜の管理および収穫、草刈り、春野菜の片付け	17	7

241 95

※栗拾い体験：9/19(月)3家族5名、9/25(土)6家族17名、10/6(木)ほほえみの郷27名

※芋掘り体験：11/9(水)リロード9名、11/10(木)ほほえみの郷10名、11/20(日)5家族15名

※メシませ！畑ごはん：5/6(日)7組21名、5/19(土)6組15名、6/3(日)3組10名

## 2) ヨコハマで農業体験

横浜市保土ヶ谷区で、土づくりから品種や鮮度にもこだわって野菜を生産している生産者の農作業をお手伝いした。原則、第1土曜日に実施（2011年12月、2012年3月は雨天のため、5月は生産者の都合で中止とした）。ホームページ閲覧者の参加が大半だが、リピーター定着の課題が残った。第12期の事業には、のべ18名の方の参加者があった。

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/2(土)	長ネギ畑の草取り、とうもろこし防鳥ネット張替え	3	1
8/13(土)	モロヘイヤ畑、長ネギ畑、草取り、にんじん寒冷紗外し	2	1
9/3(土)	じゃがいも畑草取り(畝作り準備)、	3	1
10/1(土)	オクラの片付け、ほうれん草草取り	3	1
11/5(土)	玉葱草取り	0	1
12/3(土)	雨天中止	—	—
1/7(土)	ブロッコリ、白菜の片付け、大根畝の草取り	2	1
2/18(土)	ほうれん草収穫後の草取り、収穫(ほうれん草)	2	1
3/17(土)	雨天中止	—	—
4/7(土)	草取り	3	1
5/5(土)	生産者の都合で中止	0	1
6/2(土)	じゃがいも畑片付け	0	1

18 10

### 3) NORAの野良仕事

農作業を通して、自然と暮らす知恵や技や考え方を学び・身につけるとともに、いずれは自分たちの手で野良仕事の場を、身近に野良のある日常を創ることを目指すプロジェクト。第12期は、計4回、「NORA野菜市」等に野菜を提供して下さる神奈川県内の農家を訪ね、農作業をおこなった。

実施日	場 所	内 容	参加人数	スタッフ
8/28 (日)	柏木さんの農園 (小田原市下曾我)	ブルーベリーの収穫	1	2
11/12 (土)	小澤さんの農園 (小田原市小竹)	玉ねぎの定植	0	2
12/11 (日)	柏木さんの農園 (小田原市下曾我)	みかんの収穫	2	1
5/20 (日)	小澤さんの農園 (小田原市小竹)	玉ねぎの収穫	2	2
			5	7

### 持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

#### 3. ムラ事業

##### 1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2012年6月で丸4年。「竹細工教室」「神奈川県野菜の食事会」などは回を重ねて、すっかり定着した。「お話の会～はまどま劇場～」に加え、「香りをつくる」が始まった。「セルフケアワークショップ」「キルト教室」などが新たに始まったものの、諸事情により残念ながら現在は休止している。従来からのものも含め、企画を定着・継続するのは案外難しいのかもしれない。「野を描く」は「筆で描く」となって再出発した。この一年の間にも、新たな出会いが次々とあり、仲間の輪は確実に広がっている。その輪の中から、はまどまプロジェクトへの参加と、いずれは運営委員となって推進してくれる人が現れることを願っている。

##### (1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17時～19時 大和ビル駐車場にて神奈川県内産・生産者限定の野菜市を開催した。身近な交流のできる生産者からの野菜市。野菜市は、地域の人々の暮らしに定着しており、若い世代の利用が増えている。地域の皆さんのコミュニケーションの場としても活かされている。

##### (2) Marc 朝市

2008年12月から、毎月第3土曜日に開催。2010年からは開催時間を10時～正午とした。雨天の場合は中止にするため、この一年で3回中止となり、地域に定着するために厳しい一年となった。

2011年3月11日の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故、引き続き天候不順と経済の低迷、特に市民生活が困窮する中で、野菜市が果たせる役割がさらに高まっていくと思われ、高めていく意識で取り組んだ。状況は一層深刻になっていくばかりなので、引き続き、やれることを精いっぱい取り組んでいきたい。

##### (3) 神奈川県野菜の食事会

会員および会員の紹介者が交流・学習する場として毎月開催し、2012年6月で67回となった。原則第1木曜日(2011年11月から第2木曜日)の夜に、回数を重ねることで参加者の顔ぶれや、食事会への期待などに変化が感じられる。特に、2012年に入って、新しい参加者が相次いだ。ともに作ることを楽しめる仲間づくりもこれからの課題である。「命を支える食」「仲間と囲む食卓」「心をはぐくむ食卓」

を念頭に、食のあり方を提言できるように進めていきたい。また、生産者の参加もさらに促したい。第12期は、のべ197人の参加者があった。

実施日	回	内容	参加人数
7/07 (木)	56	カボチャ蒸し、ゆでもろこし、トマト汁	17
8/04 (木)	57	第3回流しそうめん・じゅんご中継	22
9/01 (木)	58	耕一さん参加で、エゴマ・ツルナ多用	20
10/06 (木)	59	野菜寿司好評	11
11/10 (木)	60	(このころから、しばらく少人数)	9
12/08 (木)	61	鍋3種類・豆乳・トマト・だまこ汁風	10
1/12 (木)	62	重ね煮おかゆ (少人数でも楽しげだった)	9
2/09 (木)	63	柿酢寿司・重ね煮スープ・里芋の煮物	15
3/08 (木)	64	柿酢寿司・重ね煮スープ・黒千石おにぎり	19
4/12 (木)	65	ロールキャベツ・葉玉ねぎおやき・柿酢漬	11
5/07 (月)		番外・亜紀ちゃんお疲れ！牛肉食べ放題！	10
5/10 (木)	66	甘夏寿司二段作り。スペイン風オムレツ	26
6/07 (木)	67	空豆ご飯・真竹づくし・富貴の大豆おかず	18

197

#### (4) もったいないから竹細工 (平成23年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)

里山では手入れされなくなった竹林が生い茂って、邪魔物として扱われている。かつては有用だった竹を生かせないのはもったいない。そこで、竹林を整備するときに出てくる竹材を有効に生かすために、竹細工に挑戦している。竹の廃材を竹ひごに加工し、編み方を六つ目編みに特化して、花器や籠など様々な作品作りに取り組んでいる。第12期は、原則、第2土曜日に講師を招いて竹細工教室を(2011年8月、2012年1月は講師の都合により中止)、第4土曜日(2011年9月までは第3土曜日)に自主的な竹細工作業をおこなった(2012年5月は畑作業のため中止)。定員10名を上回る申し込みがたびたびあり、リピーターの定着とともに新規参加希望者が増した。竹細工教室のべ75名/竹細工作業のべ27名と合計102名の参加者があった。

#### 【竹細工教室】

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/9 (土)	六つ目かご仕上げ 四つ目籠	7	2
9/10 (土)	六つ目かご (花器)	7	2
10/8 (土)	六つ目籠づくり	6	2
11/26 (土)	収穫籠づくり	8	2
12/10 (土)	ミニ門松	7	2
2/11 (土)	水切り籠	5	2
3/10 (土)	水切り籠	7	2
4/14 (土)	水切り籠 収穫籠	12	2
5/12 (木)	六つ目花かご	7	2
6/9 (土)	六つ目丸口花籠	9	2

## 【竹細工作業】

実施日	活動内容	参加人数	スタッフ
7/23 (土)	竹ひご作り	2	1
8/6 (土)	竹ひご作り	2	1
9/24 (土)	竹ひご作り	2	1
10/22 (土)	竹灯籠製作	2	1
10/29 (土)	竹灯籠製作	1	1
11/12 (土)	灯籠製作	2	1
12/24 (土)	灯籠づくり 竹ひご作り	2	1
1/28 (土)	灯籠づくり 竹ひご作り	3	1
2/25 (土)	竹とんぼ試作 竹ひご・灯籠作り	4	1
3/31 (土)	竹とんぼ試作 竹ひご・灯籠作り	4	1
4/28 (土)	竹ひご作り	1	1
6/30 (土)	キャンドルナイト出展準備	2	1
		27	12

## (5) 野を描く (→2012年から「筆で描く～手描きの時間」に変更)

12期の開催数は4回にとどまった。2012年に入ってから、野だけでなく筆で描くことを中心に、文字を描く日も設けた。昨年・今年と個人的には個展を開催し、その際に「はまどま」を大いに活用したのだが、集客の面では積極的にできなかった。今後は平日と日曜日の2日開催して、その中で文字を描く楽しさを伝えていきたい。

実施日	内容	参加人数	スタッフ
7/16 (土)	うちわに描く	1	1
8/21 (日)	秋の彼岸花でランチョンマット	2	1
5/20 (日)	筆で描く…基本レッスン、名前を描く	2	1
6/20 (水)	筆で描く…布に描く	1	1
		6	4

## (6) 香りを聞く、作る

2012年4月、粕谷恵さんを講師に招いて始まった「香り」シリーズ。貴重な天然の香材を使い、“自分”を香りで表現する講座を開催した。

実施日	内容	参加人数	スタッフ
4/11 (土)	自分の香りを作る	8	2
		12	4

## (7) 身近な薬草でセルフケアワークショップ

さとうむつみさんによる「身近な薬草を生活に」というコンセプトのもと、身近にある薬草を使う分だけ頂き、それ

を活かす連続ワークショップ。12 期に4回開催し、のべ 32 名の参加者があって盛況だったが、現在は休止中。

実施日	内 容	参加人数	スタッフ
9/17 (日)	岐阜から生産者を呼んで薬草酒を飲む	5	1
10/16 (日)	薬草で天然の手湯剤を作ろう	8	1
11/19 (日)	柿酢を作ろう	8	1
1/17 (水)	薬草酒でテイスティングパーティー	11	1
		32	4

#### (8) 手芸で遊ぼう

安原美子さんによる、手仕事の楽しさをみんなで味わう時間と称して始まった企画で、12 期に 5 回開催し、のべ 14 名の参加者があったが、現在は休止中。

実施日	内 容	参加人数	スタッフ
9/4 (日)	アクリルたわしを作ろう	3	1
10/23 (日)	コースターを作ろう	2	1
11/16 (日)	クリスマスミニタペストリー	2	1
1/11 (水)	コースターを作ろう～2	5	1
5/9 (水)	フェルトでティッシュボックス	2	1
		14	5

#### (9) お話の会～はまどま劇場～

2011 年 5 月 29 日に「朗読の夕べ」第 1 回として始めて以来、ほぼ月 1 回ペースで開催してきた。第 12 期は 11 回開催し、のべ 100 名の参加者があった。2011 年 12 月からは「お話の会～はまどま劇場～」と名称を変更し、時間帯も 16:00～17:30 は子ども向けを中心に「親子ではまどま」、食事は「はまどまご飯」として「神奈川野菜の食事会」に準じるものの簡単な献立で、そのまま夜の部に移行して 21:00 までが大人向けの時間という構成にしながら、試行錯誤を続けている。多くのさまざまな出演者、観客を迎えたことにより、こうした移り変わりになったのだが、あらためて簡素に続けていけるように模索している。「はまどま」での開催を基軸としながらも、子ども会、老人ホーム、野菜市と併せてなど、積極的に“場づくり”も試みたい。「はまどま」への来訪者を増やして地域交流を進めるには、そのような取り組みの積み重ねが必要と思われる。

実施日	参加人数
7/24(日)	12
8/28(日)	11
10/2(日)	8
10/23(日)	7
12/4(日)	9
12/25(日)	6
1/29(日)	8
2/26(日)	15
3/25(日)	9

4/22(日)	7
6/24(日)	8
参加合計	110

#### (10) そのほか

2011年7月3日(日)、伊勢佐木町4丁目の「七夕キャンドルナイト」、12月17日(土)～18日(日)大岡川アートプロジェクト「光のふるむなあと2011」に、竹燈籠や竹細工教室で出展・参加した。ほかに、地元の宮宿花一・二丁目町内会や地域団体との関係強化にも努めた。

### 4. ハレ事業

#### 1) 設立10周年記念事業(地域づくり団体活動支援事業)

2010年5月に「よこはま里山研究所設立10周年記念事業 募金要項」を作成し、会員を中心に寄附金を集めた。2012年1月22日(日)には、下記のとおり、NORA10周年記念フォーラムを開催し、これにあわせて映像集を制作したほか、当日用パンフレットに掲載した年表を編集した。また、当日のイベントの様子を録画したので、寄附者に配布する予定である。

NORA10周年記念フォーラム「横浜発・里山がつなぐ地域と未来～まち・むら・子ども」

日時：2012年1月22日(日) 11:00～16:30

場所：フォーラム南太田3F大研修室

参加者数：125名(一般64、会員7、招待(町内会)2、スタッフ49、講師3)

内容：第1部では「NORAをまるごと体感する！ワークショップ&交流会」と題して、NORAの様々な活動を交流会形式で紹介。昼食には、地元商店街のおにぎり弁当と神奈川野菜のスープが振る舞った。第2部では、シンポジウム「里山がつなぐ地域と未来～まち・むら・子ども」を開催。寺川裕子氏「大阪・里山倶楽部の20年～好きなこととしてそこそこもうけて、いい里やまをつくる」、相川明子氏「青空自主保育から鎌倉中央公園での活動へ」、十文字修氏「佐渡島の限界集落に移り住んで思うこと」の講演と、ゲストとの座談会をおこない、都市と地方での里山と人とのかかわりについて議論した。

#### 2) 伊勢佐木町地モノ市

2011年11月6日(日)、「第11回あなたとともにエコロジー伊勢佐木」に参加するかたちで、エコ商店街・伊勢佐木町商店街の全面的なバックアップを得て「地モノ市」を開催した。前日準備に8名、当日スタッフに9名のボランティアの参加があった。あいにくの天候で、またボランティアスタッフは1人を除いて初めての方だったが、ほとんど初対面にもかかわらずメンバー同士が打ち解けて取り組んだ。途中で雨に降られて他のグループは早めに終了したのに、最後まで穏やかに混乱もなく催すことができた。

この「地モノ市」は、生産者が直接販売する「ファーマーズマーケット」ではない。つまり、生産者自ら販売することが当たり前とする風潮に異を唱えるものである。暮らしの中で作物を利用している者が、生産者と直接的に交流関係を築き、たとえば生産者が「神奈川野菜の食事会」に参加したり、利用者が収穫作業などの応援にでかけたり、そうした人間関係を育みながら、さらに地域に“普及”するための場が「地モノ市」でありたい。作物の販売を通して、そのような考え方も伝えていきたい。

#### 3) まいたエコサロンの会

第12期は、まいたエコサロンの会と情報を共有しただけで、特に活動はなかった。

## 里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

### 5. イキモノ事業

#### 1) 旬の里山探訪

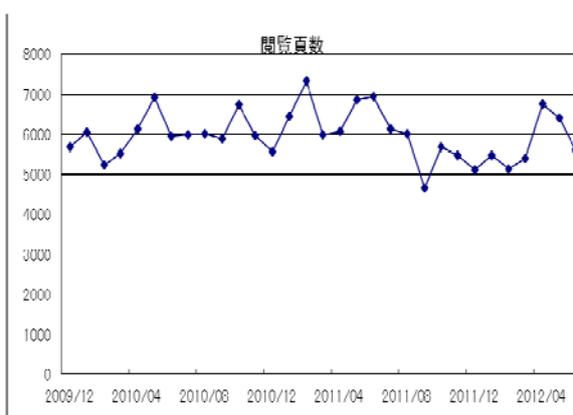
特定非営利活動法人新治里山「わ」を広げる会が実施している当イベントへの協力という形でおこなっている。第12期は、第3日曜日に開催し（2012年5月から第1水曜日、5月・6月は雨天中止）、のべ29名の参加者があった。

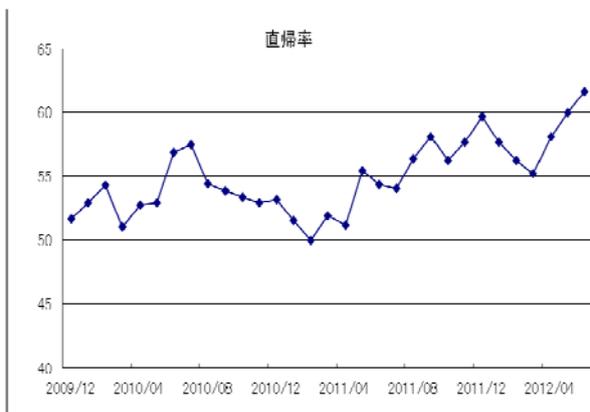
実施日	参加人数	スタッフ
7/17 (日)	6	2
9/18 (日)	1	2
10/16 (日)	1	2
11/20 (日)	1	2
12/18 (日)	7	2
2/19 (日)	5	2
3/18 (日)	4	2
4/15 (日)	4	2
	29	20

### 6. 広報事業

#### 1) ウェブサイトの更新

第12期は、トップページに twitter のバナーを掲示したほかは、大きな変更をおこなわなかった。継続して、各プロジェクトの告知、報告のブログ記事アップ、情報発信に多くの会員が参加している。ただし、記事の掲載については、一部の会員に負担が集中しているため、参加者が分担して原稿を作成するなどの体制が必要である。





## 2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」第38～49号を、原則、毎月1日に配信した。このメルマガは、会員には会員メーリングリスト経由で、事務局が把握している会友・関係者(529→708→852名、2012年6月現在)には直接メールで配信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ!」での配信もおこなっており、読者数は漸増している(179→223→247、2012年6月現在)。

## 3) twitter・facebookによる情報発信

2010年3月28日から、ブログより柔軟に迅速に情報を発信するために、twitterの利用を開始した。徐々にフォロワーを増やしており、247名からフォローされている(2012年6月現在)。また、twitterよりも濃密なソーシャルメディアネットワークによる広報として、2011年8月3日にfacebookに登録し、10月19日から情報発信を始めた。2012年6月現在、71名に「いいね!」されている。

## 協働・受託事業

### 里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

#### 1) 新治市民の森保全管理計画コーディネーター業務(横浜市環境創造局みどりアップ推進課)

〈2011年4月-2012年3月〉

平成22年度に新治市民の森保全管理計画が策定された。それを具体的にすすめるため、現地にコーディネーターとして派遣された。主な業務は各団体間調整、専門家アドバイス等の把握と伝達、研修等企画立案補助などを実施した。

#### 2) 瀬上市民の森保全管理計画協議会設置準備業務(横浜市環境創造局みどりアップ推進課)

〈2011年9月-2012年3月〉

栄区瀬上市民の森における保全管理計画づくりのワークショップを経て、市民団体の再編、今後の運営の仕組みづくりなどを検討。

#### 3) 「さくらの記憶」伐採木活用プロジェクト(横浜市南区区政推進課)〈2011年9月-2012年3月〉

平成23年度は、5本のさくらが伐採された。伐採木の材質状況により結果的には3本分を配布用に活用した。前年度に引き続き、進行管理及び全体調整、希望の取りまとめ、抽選、結果の通知など利用者にかかわる個人情報の取扱い等については、区政推進課が主体となり進めた。また、伐採量及び形状の把握・製材の形状連絡、確保される材と希望量の調整などはNORAで担当した。

#### 4) 桜ヶ丘緑地における保安全管理計画づくり (桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

昨年度に行った保土ヶ谷区桜ヶ丘緑地の保安全管理計画づくりのワークショップとゾーニング図の作成。最終仕上げができていない。

#### 5) バングラデシュ国南東部地域開発情報収集・確認調査 ((株) パデコ)

<2012年1月-2012年3月>

バングラデシュ国東部丘陵地帯の少数民族が生活する丘陵地帯における地域開発と森林資源保全を今後検討するための基礎調査をおこなった (JICA 事業)。今後は、調査結果を元に具体的な援助計画が形成される見込みである。

#### 6) そのほか

横浜市の生物多様性普及キャンペーン「ヨコハマbフェスティバル」(2012年10月1日~11月30日)の企画に参加している。また、有隣堂から発行される予定の神奈川県内の里山ガイドブックの作成にも企画段階から取材に応じている。

### **委員・講師派遣等**

#### 1) 委員

○吉武美保子

- ・神奈川県環境農政局公共事業評価委員会
- ・神奈川県立旭高校評議員
- ・横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会 (横浜・ひと・まち・デザイン賞地域まちづくり部門)

○松村正治

- ・神奈川県ボランティア活動推進基金幹事会
- ・「森林環境保全総合対策事業のうち生物多様性森林対策事業」里山研究会

○中林博志

- ・横浜市緑区チャレンジ提案事業審査会

#### 2) 講師・執筆

○吉武美保子

- 12/3 (土) フォートンヒルズ管理組合：マンション緑地の管理について
- 1/25 (水) ランズ計画研究所 (みどりアップ推進課)：谷矢部池公園の管理計画について
- 2/21 (火) 神奈川県農地保全課：里地里山サミットコーディネーター
- 5/18 (金) 横浜市温暖化対策統括本部：FMヨコハマ出演～里山の話

○松村正治

- 7/4 (金) 明治大学：学部間共通総合講座「里山入門」ゲスト講師
- 9/27 (火) 横浜市市民活動支援センター：『animato』のテーマ「地域の拠点」に関する座談会
- 2/21 (火) 町田市北部丘陵整備課：研修「里山資源を活用したコミュニティビジネスを考える」
- 2/28 (火) 神奈川シニア自然大学校：自然派ビギナー講座「里山と私たちの暮らし」
- エッセイ「人と里山のコミュニケーション」『農業共済新聞』4/11号

論考「多様な人びとと多様な里山、その多様な関係性」『多摩ニュータウン研究』14号

○下山康博

5/9（水）横浜国立大学（小宮正安先生）：基礎演習「食と農を考える」の指導

5/13（日）『里山時間』（辰巳出版）の取材→8月下旬創刊号に掲載予定

3) そのほか

[取材・広報]

第5回「横浜・人・まち・デザイン賞」を吉武美保子主任研究員が受賞→『タウンニュース』（9/15版）緑区版に掲載

7/13（水）はまれぼ編集部の取材→7/28（木）サイトに記事がアップ

8/4（木）FMヨコハマ、「はまどま」から生放送

8/9（火）フリーペーパー『とれぼーの』（八社会）の取材→10月号に掲載

10/31（月）J-WAVE「KONICA MINOLTA COME TOGETHER」に出演→12/30（金）放送

1/11（水）『タウンニュース』の取材→南区版（1/19号）掲載

[研修受入]

7-8月、東洋英和女学院大学からインターンシップ生4名を受入。

収 支 計 算 書

平成23年 7月 1日から平成24年 6月30日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>【経常収入の部】</b>				
会 費 収 入	[ 510,000]	[ 450,000]	[ 60,000]	
事 業 収 入	[ 2,300,000]	[ 5,863,403]	[△ 3,563,403]	
自 主 事 業 収 入	850,000	576,660	273,340	
販 売 事 業 収 入	100,000	315,888	△ 215,888	
受 託 事 業 収 入	1,350,000	4,970,855	△ 3,620,855	
助 成 金 収 入	[ 1,738,670]	[ 2,306,060]	[△ 567,390]	
寄 付 金 収 入	[ 400,000]	[ 385,379]	[ 14,621]	
雑 収 入	[ 150,000]	[ 23,846]	[ 126,154]	
経常収入合計	5,098,670	9,028,688	△ 3,930,018	
<b>【経常支出の部】</b>				
事 業 費	[ 4,945,000]	[ 6,707,324]	[△ 1,762,324]	
人 件 費	( 550,000)	( 382,902)	( 167,098)	
給 料 手 当	500,000	380,000	120,000	
臨 時 雇 賃 金	50,000	0	50,000	
法 定 福 利 費	0	2,902	△ 2,902	
事 業 経 費	( 4,395,000)	( 6,324,422)	(△ 1,929,422)	
旅 費	100,000	87,520	12,480	
通 信 運 搬 費	290,000	153,055	136,945	
器 具 備 品 費	1,350,000	893,140	456,860	
消 耗 品 費	140,000	97,368	42,632	
修 繕 費	20,000	9,745	10,255	
印 刷 製 本 費	420,000	2,260	417,740	
水 道 光 熱 費	100,000	108,056	△ 8,056	
賃 借 料	945,000	975,000	△ 30,000	
保 険 料	110,000	107,128	2,872	
諸 謝 金	700,000	210,000	490,000	
委 託 費	150,000	3,477,600	△ 3,327,600	
雑 費	10,000	1,300	8,700	
調 査 研 究 費	40,000	3,600	36,400	
広 告 宣 伝 費	0	6,000	△ 6,000	
会 議 費	20,000	17,900	2,100	
諸 費	0	32,400	△ 32,400	
販 売 仕 入 費	0	142,350	△ 142,350	
管 理 費	[ 240,000]	[ 330,582]	[△ 90,582]	
租 税 公 課	75,000	193,640	△ 118,640	
支 払 手 数 料 費	150,000	136,942	13,058	
交 際 費	15,000	0	15,000	
経常支出合計	5,185,000	7,037,906	△ 1,852,906	
経常収支差額	△ 86,330	1,990,782	△ 2,077,112	
<b>【その他資金収入の部】</b>				
その他資金収入合計	0	0	0	
<b>【その他資金支出の部】</b>				
その他資金支出合計	0	0	0	
当期収支差額	△ 86,330	1,990,782	△ 2,077,112	
前期繰越収支差額	5,557,240	5,557,240	0	
次期繰越収支差額	5,470,910	7,548,022	△ 2,077,112	

貸借対照表

平成24年 6月30日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>【資産の部】</b>		
流動資産		
現 金 預 金	6,256,453	
未 収 金	1,981,800	
前 払 費 用	78,750	
流動資産合計		8,317,003
固定資産		
その他の固定資産		
建 物 附 属 設 備	21,621	
器 具 備 品	694,999	
電 話 加 入 権	89,880	
敷 金	225,700	
その他の固定資産合計	1,032,200	
固定資産合計		1,032,200
資産合計		9,349,203
<b>【負債の部】</b>		
流動負債		
未 払 金	2,116,238	
前 受 金	10,000	
預 り 金	89,892	
未 払 法 人 税 等	70,000	
未 払 消 費 税 等	121,200	
流動負債合計		2,407,330
負債合計		2,407,330
<b>【正味財産の部】</b>		
正味財産		6,941,873
(うち当期正味財産増加額)		( 1,742,892)
負債及び正味財産合計		9,349,203

正味財産増減計算書  
平成23年 7月 1日から平成24年 6月30日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加原因の部】			
会 費 収 入			450,000
事 業 業 業		576,660	
自 主 事 業 収 入		315,888	
販 売 事 業 業 業		4,970,855	5,863,403
受 託 事 業 業 業			2,306,060
助 成 金 収 入			385,379
寄 付 金 収 入			23,846
雑 収 入			9,028,688
合 計			
【減少原因の部】			
事 業 費			
人 件 費			
給 料 手 当	380,000		
法 定 福 利 費	2,902	382,902	
事 業 費			
旅 通 交 通 費	87,520		
通 信 運 搬 費	153,055		
器 具 備 品 費	893,140		
消 耗 品 費	97,368		
修 繕 費	9,745		
印 刷 繕 製 費	2,260		
水 道 光 熱 費	108,056		
賃 借 料	975,000		
保 險 料	107,128		
諸 謝 託 金	210,000		
委 託 費	3,477,600		
雑 費	1,300		
調 査 費	3,600		
広 告 費	6,000		
会 議 費	17,900		
諸 費	32,400		
販 売 仕 入 費	142,350	6,324,422	6,707,324
管 理 費			
租 税 公 課		193,640	
支 払 手 数 料		136,942	330,582
建 物 付 属 設 備 減 価 償 却 額			2,644
器 具 備 品 減 価 償 却 額			245,246
合 計			7,285,796
当期正味財産増加額			1,742,892
前期繰越正味財産額			5,198,981
期末正味財産合計額			6,941,873

財 産 目 録

平成24年 6月30日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>【資産の部】</b>		
流動資産		
現 金 預 金	6,256,453	
現金 現金手許有高	314,310	
普 通 預 金	5,182,649	
郵 便 振 替 口 座	759,494	
未 収 金	1,981,800	
前 払 費 用	78,750	
流動資産合計		8,317,003
固定資産		
その他の固定資産		
建 物 附 属 設 備	21,621	
器 具 備 品	694,999	
電 話 加 入 権	89,880	
敷 金	225,700	
その他の固定資産合計	1,032,200	
固定資産合計		1,032,200
資産合計		9,349,203
<b>【負債の部】</b>		
流動負債		
未 払 金	2,116,238	
前 受 金	10,000	
預 り 金	89,892	
未 払 法 人 税 等	70,000	
未 払 消 費 税 等	121,200	
流動負債合計		2,407,330
負債合計		2,407,330
正味財産		6,941,873

監事監査報告書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所  
理事長 松村 正治 殿

第12期事業年度（2011年7月1日から2012年6月30日まで）の事業報告、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、財産目録を監査した結果、法令や定款に則して適切に処理、記載されていると認める。

以上

2012年8月22日

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

監事

平石 真司 

## 第3号議案 第13期事業計画（2012年7月～2013年6月）

第13期から実際にスタートする「よこはま里山レンジャーズ」（平成24年度「みどりの夢かなえます事業」）では、森づくり団体の高齢化という問題に対して、若い世代の参加を促す有効な対策となるかどうか、新しい社会実験を始める。このほかの自主事業では、定例活動を着実に実施するほか、前期から萌芽的に着手した「NORAの山仕事」における「和み系」や、下川井農地における「メシませ！畑ごはん」などを広報し、「里山とかかわる暮らしを」広げる活動をさらに展開していく。「はまどま」では、地元地域との関係を深めながら活用を図り、自主的・自立的な運営に努めたい。そのためには、今期から始める「映画の上映会（仮）」「吹奏楽団員の親睦食事会（仮）」などを着実におこない、「はまどま」の新たな可能性を開拓していく。また、「はまどま」を個人事業者の会員と共同利用するなど、利用頻度を高める工夫を重ねていく。受託事業については、組織内の資源と社会からのニーズを勘案しながら、適宜、外部との連携も図りながら進めていく。一方で、NORAを受託事業の受け皿として、会員が生かしやすいように環境整備も進めていく。さらに、安定的な財源となる会費と寄付金の増収を図るための体制を整備し、さらに多くの会員・会友によって支えられるように、認定NPO法人化の検討を始める。

### 自主事業

#### 1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事 {別紙計画書のとおり}

2) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}

3) よこはま里山レンジャーズプロジェクト {別紙計画書のとおり}  
(平成24年度横浜市みどりの夢かなえます事業)

4) 山道具の安全使用

山道具の安全使用を推進するため、信頼性のある動力工具や消耗品等の販売するほか、安全な伐倒実技講習を開催するなど、より安全性を高めた緑地保全活動の啓発を推進する。

5) ミルマップ・ワークショップ

『ミルマップ・ワークショップ！～みんなで描く森づくりプラン』の増刷と、考え方の普及を目指す。

#### 2. ノラ事業

1) 休耕地再生で農体験 {別紙計画書のとおり}

2) ヨコハマで農業体験 {別紙計画書のとおり}

3) NORAの野良仕事 {別紙計画書のとおり}

#### 3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト {別紙計画書のとおり}

(1) NORA 野菜市

(2) Marc 朝市

- (3) 神奈川野菜の食事会
- (4) もったいないから竹細工
- (5) お話の会～はまどま劇場～
- (6) 映画の上映会（仮）
- (7) 吹奏楽団員の親睦食事会（仮）
- (8) 筆で描こう～手書きの時間
- (9) 香りを聞く、作る

#### 4. ハレ事業

##### 1) 伊勢佐木町地モノ市

2012年11月4日（日）、伊勢佐木町商店街と継続的な関係を保ちながら、地モノ市を開催する。

##### 2) まいたエコサロンの会

まいたエコサロンの会の一員として、適宜、ネットワーク活動に協力する。

#### 5. イキモノ事業

##### 1) 旬の里山探訪

新治里山公園運営PJの自然観察部会メンバーが気軽なお散歩会を実施。2012年5月より、第3日曜から第1水曜へ、参加費は500円から200円となった。8月と1月はお休み。

#### 6. 広報事業

##### 1) ウェブサイトの更新

twitter・facebookとの連携を進めるほか、ブログ記事・情報の更新頻度を上げ、より効果のある広報媒体を目指す。記事の掲載については、一部の会員に負担が集中しないよう役割分担を進める。

##### 2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

ウェブサイトと連携しながら、月に1回以上定期的に配信して、効果的に情報を発信する。

##### 3) twitter・facebookによる情報発信

twitter・facebookを利用して、柔軟に迅速に情報を発信する。

#### **協働・受託事業**

##### 1) 北の森地区ウェルカムセンター展示計画業務（横浜市環境創造局みどりアップ推進課）

〈2012年7月-2012年11月〉

にはる里山交流センターのウェルカムセンター事業として展示パネル版下作成と形状設計を実施する。

そのほか、適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。

#### **委員・講師派遣**

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。



■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ																																						
カテゴリ	ヤマ ←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入																																						
リーダー	島村雅英																																						
スタッフ (リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー 自然環境復元協会(連携)																																						
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山仕事ボランティアを募集する</li> <li>ボランティア受け入れ団体と連絡調整を行う。</li> <li>コーディネーターの引率で、山仕事のお手伝いをする。</li> <li>ヤマで仕事をしている団体と、ボランティア希望者をつなぐ仕組みを構築する。</li> <li>成果を普及する</li> </ul>																																						
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受け入れ団体とボランティア希望者をつなぐしくみの継続的な運営、活用</li> <li>6団体に対し延べ18回のプログラムを実施する。</li> </ul>																																						
内容	<p>1回あたり10名程度のボランティア(レンジャーズ)をコーディネーターが引率し、団体が実施している里山管理活動に参加してもらう。</p> <p>作業内容は、基本的に下草刈り、間伐材の搬出、簡単な枝打ち、落ち葉かきなど軽作業を基本とし、チェーンソーによる伐採等危険が伴う作業は行わない。</p> <p>本事業は、認定NPO法人自然環境復元協会が実施している「トーキョーレンジャーズ事業」とタイアップして実施します。</p>																																						
日時	不定期、1団体3回、計18回																																						
場所	恩田の谷戸、カーリットの森、荒井沢、桜ヶ丘緑地、川井緑、JFEエンジニアリング株式会社社内																																						
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	<p>7月:ホームページ構築</p> <p>8月:ボランティア応募開始</p> <p>9月～1月:上記フィールドでボランティアによる活動</p> <p>2月:成果報告会(ワークショップ)</p>																																						
一般募集の有無	有:人数未定(NORAメルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ)																																						
参加費の有無	無し																																						
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	横浜市みどりの夢かなえまます事業活動助成金 2,340,000円 計2,340,000円																																						
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	<table border="1"> <tr> <td>報償費</td> <td>1,060,000</td> <td>1式</td> <td>1,060,000</td> <td>コーディネーター等謝金</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>320,000</td> <td>1式</td> <td>320,000</td> <td>スタッフジャンパー、道具等</td> </tr> <tr> <td>印刷製本</td> <td>410,000</td> <td>1式</td> <td>410,000</td> <td>チラシ、ポスター、報告書印刷</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>150,000</td> <td>1式</td> <td>150,000</td> <td>通信運搬、保険、交通費等</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>150,000</td> <td>1式</td> <td>150,000</td> <td>ホームページ改良</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>250,000</td> <td>1式</td> <td>250,000</td> <td>ワークショップ会場費、システム使用料</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td></td> <td></td> <td>2,340,000</td> <td>(内訳は別紙参照)</td> </tr> </table>	報償費	1,060,000	1式	1,060,000	コーディネーター等謝金	消耗品	320,000	1式	320,000	スタッフジャンパー、道具等	印刷製本	410,000	1式	410,000	チラシ、ポスター、報告書印刷	役務費	150,000	1式	150,000	通信運搬、保険、交通費等	委託料	150,000	1式	150,000	ホームページ改良	使用料及び賃借料	250,000	1式	250,000	ワークショップ会場費、システム使用料	小計			2,340,000	(内訳は別紙参照)			
報償費	1,060,000	1式	1,060,000	コーディネーター等謝金																																			
消耗品	320,000	1式	320,000	スタッフジャンパー、道具等																																			
印刷製本	410,000	1式	410,000	チラシ、ポスター、報告書印刷																																			
役務費	150,000	1式	150,000	通信運搬、保険、交通費等																																			
委託料	150,000	1式	150,000	ホームページ改良																																			
使用料及び賃借料	250,000	1式	250,000	ワークショップ会場費、システム使用料																																			
小計			2,340,000	(内訳は別紙参照)																																			
収支見込額(a-b)	0円																																						
備考																																							
作成年月日	平成24年8月13日	作成者名	島村雅英																																				

■NORA/第12期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	休耕地再生で農体験		
カテゴリ	ノラ ←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入		
リーダー	下山康博		
スタッフ	山仕事プロジェクトメンバー		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>休耕農地を再生することで、畑の維持管理を体験する</li> <li>参加者が土作り・作付け・育成・収穫など一連の農作業を体験し、野菜を育て収穫する喜びを体感する</li> <li>山仕事プロジェクトにて排出される丸太材の保管および製材場所として活用する</li> <li>農地を借りている生産者の方が、常時作付けが可能のように土地を管理する</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に関わられるメンバーを増やす</li> <li>事業への協賛者を増やす</li> <li>メンバーのスキルアップを図る</li> </ul>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地管理(草刈り・草取り・耕運)</li> <li>野菜の育成(作付け・設肥・追肥・防虫防菌管理・収穫)</li> <li>収穫体験の実施</li> </ul>		
日時	毎週月曜・水曜・金曜 第1・第3日曜日 10:00～16:00		
場所	横浜市旭区下川井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	<p>7月 収穫作業 草刈り 種まき(にんじん・キャベツ・ブロッコリ・カリフラワー)</p> <p>8月 収穫 草刈り 畝作り 種まき(かぶ・大根・白菜) 種植え(じゃがいも・にんにく)</p> <p>9月 草取り 定植(キャベツ・ブロッコリ・カリフラワー) 種まき(上旬:白菜・大根・かぶ 中旬:じゃがいも・ほうれん草・小松菜・春菊 下旬:にんにく)</p> <p>10月 草刈り草取り 追肥 収穫作業 小麦種蒔</p> <p>11～1月 収穫作業</p> <p>2～3月 耕作</p> <p>4月 種まき(トマト・きゅうり・茄子・ピーマン) 中旬～下旬 草刈り 耕運 設肥</p> <p>5月 定植(トマト・きゅうり・茄子・ピーマン) 中旬～下旬 種まき(枝豆・トマト・きゅうり・茄子・ピーマン・カボチャ) 草刈り・畝作り</p> <p>6月 種まき(オクラ・モロヘイヤ・落花生) 苗植え(さつま芋) 草刈り 収穫(小麦)</p>		
一般募集の有無	有:人数未定(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:協賛メンバーは@5,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	協賛金(野菜販売)@120,000×12ヶ月 1,440,000円 収穫体験(施設使用料)@10,000×12回 120,000円 計1,560,000円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	種苗購入費 50,000円 肥料・薬剤購入費 100,000円 資材購入費 100,000円 旅費交通費 60,000円 その他雑費 60,000円(ガソリン・混合用オイルなど) 予備費 50,000円 計420,000円		
収支見込額(a-b)	1,140,000円		
備考			
作成年月日	平成24年8月14日	作成者名	下山康博

■NORA/第12期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	ヨコハマで農業体験		
カテゴリー	ノラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部で生活する人たちへ、身近に農を体験する場を提供する。</li> <li>・都市型農業を継続する野菜生産農家の努力や、やりがいを体感する。</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に関わるスタッフ・メンバーのスキルアップ</li> <li>・新規参加者の継続的参加を誘致</li> </ul>		
内容	畑の草取りから収穫後の畑の片付け、野菜の種付けから収穫など畑仕事の一連を体験する。単なる体験ではなく、商品を育てる作業に関わるという認識を大切に取組む		
日時	毎月第3土曜日 10:00～16:00		
場所	横浜市保土ヶ谷区西谷町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:45 相鉄線西谷駅改札出口 集合 10:00 作業参加準備 作業内容説明 10:30 作業開始 12:00 昼食 13:00 作業再開 16:00 作業終了 17:00 解散		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	無 ←「有」の場合は金額を記入		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	無		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	無		
収支見込額(a-b)	無		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	平成24年8月14日	作成者名	下山康博

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	NORAの野良仕事		
カテゴリー	ノラ		
リーダー	森末		
スタッフ (リーダーを除く)	鈴木、前田		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野良の現場から自然と上手に付き合う暮らし方・知恵・技・考え方を学ぶ</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に続き、年間を通じた参加者(リピーター)の確保。</li> </ul>		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の方と相談の上決定。(人手が必要な収穫等に合わせ実施)</li> </ul>		
日時	年4回(季節ごと 土、日、祝を中心に) 8:30～16:00頃		
場所	小田原市小竹・小澤和義さんの農園、小田原市下曾我・柏木圭介さんの農園		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	農家の方と相談の上決定。 ・ブルーベリーの収穫 8月 ・みかんの収穫 11月 ・冬野菜 畑の手入れ2月 ・玉ねぎの収穫 5月		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有 300円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 7,200円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	お菓子 4,800円 通信費 1,000円 消耗品 1,400円 合計 7,200円		
収支見込額(a-b)	0円		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月12日	作成者名	森末香織

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	NORA 野菜市		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	はまどま運営委員ほか有志募る。		
目的 (箇条書きで記入)	「神奈川・緑の劇場」の取り組みを支援し、連帯する活動。 「地産地消」の日常的な実践の場。NORAの活動を広く知らせ、仲間を募る場。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	地場野菜の旬・適地適作・調理方法など、農産物の利用・情報を通して学ぶ。生産者との交流の場に参加し、相互理解を深める。販売ボランティアスタッフになり利用する人とのコミュニケーションを図る。など、都市生活と生産者・農業との繋がりが強く感じられ、都市での暮らし方を見直すきっかけの場として活かす。		
日時	毎週火曜日 17～19時		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル駐車場および「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	三好豊

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	Marc 朝市		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	はまどま運営委員ほか有志募る。		
目的 (箇条書きで記入)	イタリアンレストラン「Marc」と「神奈川・緑の劇場」の取り組みを支援し、連帯する活動。 「地産地消」の日常実践。NORAの活動を広く知らせる仲間を募る場。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	地場野菜の旬・適地適作・調理方法など、農産物の利用・情報を通して学ぶ。生産者との交流の場に参加し、相互理解を深める。販売ボランティアスタッフになり利用する人とのコミュニケーションを図る。など、都市生活と生産者・農業との繋がりが強く感じられ、都市での暮らし方を見直すきっかけの場として活かす。		
日時	毎月第3土曜日 10～12時		
場所	南区宮元町 1-17-8-101 「イタリアンレストラン Marc」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無			
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	三好豊

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	神奈川野菜の食事会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	はまどま運営委員ほか有志募る。		
目的 (箇条書きで記入)	交流できる県内生産者の農産物を、みんなで食べる		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	地場野菜の旬・適地適作・調理方法などを農産物の利用・情報を通して学ぶ。生産者との交流をはかり相互理解を深める。会員と会員紹介の参加者同士のコミュニケーションをはかる…など、都市生活と、生産者・農業とのつながりが強く感じられ、都市での暮らしを見直すきっかけの場として活かす。		
日時	2012年9月から当面不定期。午後3時～準備・午後6時～9時		
場所	南区宿町2-40 大和ビル119号「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	会員と会員紹介者に限定		
参加費の有無	参加費 1,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	三好豊

■NORA/第12期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	もったいないから竹細工		
カテゴリー	ムラ	←ヤマ、ノラ、ムラ、ハレ、イキモノのいずれかを記入	
リーダー	下山康博		
スタッフ (リーダーを除く)	講師:中元氏(日本の竹ファンクラブ)		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林整備で排出された竹材を有効活用する</li> <li>・竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る</li> <li>・竹細工の技術を身近に感じてもらい、ものづくりの楽しさを体験する</li> </ul>		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規を含めた参加者の継続的な関わりを推奨する</li> <li>・参加者のスキルアップ</li> <li>・竹から竹ひご作りなど、参加者が材を作れるように促す</li> </ul>		
内容	<p>毎月第二土曜日に、日本の竹ファンクラブから中元氏を講師に招き、竹細工講習会を実施する。参加者が作る作品は、一回の講習会で仕上がるものから、3回程度にわたる時間を掛けて製作するものまで多岐にわたる。</p> <p>作った作品は、参加者がそれぞれに持ち帰ってもらう</p> <p>竹ひごや籐などの材料は、講師の中元氏に用意して頂く。</p> <p>毎月第四土曜日に、竹ひご作りの練習や竹の灯笼づくりなど作業を行う</p>		
日時	毎月第二土曜日(竹細工講習会) 第四土曜日(竹細工作業日) 13:00～16:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	<p>7月 伊勢佐木町キャンドルイベント出展予定</p> <p>12月 大岡川アートプロジェクト出展予定</p> <p>4月 ふれあいパーク祭り出展予定</p>		
一般募集の有無	有:定員10名(NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@2,000円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	<p>参加費:240,000円(@2,000×10名×12ヶ月)</p> <p>ミニ灯笼販売:12月 40,000円(大岡川アートプロジェクト、@800×50)</p> <p>風ぐるまワークショップ:4月 10,000円(ふれあいパーク祭り、@500×20)</p> <p>計 290,000円</p>		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	<p>講師謝金 120,000円</p> <p>旅費交通費 20,000円</p> <p>予備費 10,000円</p> <p>計 140,000円</p>		
収支見込額(a-b)	140,000円		
備考			
作成年月日	平成24年8月14日	作成者名	下山康博

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	お話の会～はまどま劇場～		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	はまどま運営委員ほか有志募る。		
目的 (箇条書きで記入)	はまどまを活用した「里山jの入り口」の一環。「心の栄養」と言える様々な表現活動のひとつ。お話の会を通して、新たな人と人との繋がりが生まれる。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	夕方は、子どもを中心にしたプログラム。手遊び、紙芝居、絵本、わらべ歌など。 「はまどまご飯」をはさんで、夜は、大人向けに。飲食しながらのお話ライブにできればと思います。		
日時	日程の変更を検討中。月に一回ペースで催したい。午後4時～午後9時・食事あり		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル 119 号「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	観客・出演者ともに一般から募集する。		
参加費の有無	参加費、通し参加 1,500 円。夕方の子ども向けは無料。		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月19日	作成者名	三好豊

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	映画の上映会(仮)		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	はまどま運営委員ほか有志募る。		
目的 (箇条書きで記入)	はまどまを活用した情報発信・コミュニケーション促進の一環。貴重な記録映像を上映。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	同上		
内容	当面は、民族文化映像研究所のライブラリーを上映。		
日時	月一回程度から、頻度を上げたい。詳細検討。		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル 119 号「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	観客・出演者ともに一般から募集する。		
参加費の有無	参加費大人 1,000 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	三好豊

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	吹奏楽団員の親睦食事会(仮)		
カテゴリ	ムラ		
リーダー	三好豊		
スタッフ (リーダーを除く)	はまどま運営委員ほか有志募る。		
目的 (箇条書きで記入)	はまどまを通して繋がった交流の輪。吹奏楽団の親睦を援助し、はまどまの運営に協力をしていただく。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	同上		
内容	吹奏楽団の練習後、神奈川野菜の食事会に準じた「はまどまご飯」を提供。		
日時	月一回程度、土曜日の夜9時～11時		
場所	南区宿町 2-40 大和ビル駐車場および「はまどま」		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)			
一般募集の有無			
参加費の有無	1,000円(ドリンク付き)		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	三好豊

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	筆で描こう～手書きの時間		
カテゴリ	ムラ		
リーダー	勝野真美		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	今までは絵のみに視点を置いていたが、今後は筆全般で表現する時間とする。それは字かもしれないし、絵かもしれない。最終的に描いたものに“自分”を乗せられるようになることを目的とする。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	来年の6月までには作品展を開催することを目的とする(←言った!!)。アートってなんだ? 絵や筆で描くって? 自分の中に潜む自分を紙の上に表現することを最終的な目標にできたら…。		
内容	基本の筆のストロークから、画材の違いを確かめながら、作品を描く。		
日時	今の所は不定期だが、第3日曜日が基本 10:00～13:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	10:00 はまどま集合、基本ストロークの復習など 10:30 スケッチに出発 11:00 はまどまにて帰着、色付け 12:00 作業終了、後片付けと講評 12:30 解散		
一般募集の有無	有: 人数未定 (NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	一般 2,000円 会員 1,500円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	一人あたり2,000～1,500円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	画材費等、一人あたり500円～1,000円(描く素材によって金額は流動的)		
収支見込額(a-b)	500円 ※一人あたり500円をはまどまへ		
備考 (他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	勝野真美

■NORA/第13期プロジェクト計画書(2012年7月～2013年6月)

※プロジェクト内容によって行や項目を増やしたり、別紙を用意したりするなど、適宜、工夫してください。

プロジェクト名	香りを開く、作る		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	勝野真美(粕谷恵)		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	古から伝わる【香り】の道や深さを、身近な匂い袋や文香などを作成しながら学んでいく。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	香りから新しい自分や、深さを見つけ出していきたい。		
内容	前半では香りを聞きながらイメージに合ったものを探り、最終的に天然の香材を使用して調合して、香りを作る。		
日時	四季に合わせて		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	10:00 自己紹介 等 10:30 香りについての知識を学ぶ 11:00 香りを作る 12:00 作業終了、講評と後片付け 12:30 解散 ※午後開催の場合もあり		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORAメルマガ・HPなどの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	一般・会員 3,500 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	3,500 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	3,000 円(香材、資料、荷物発送費 等)		
収支見込額(a-b)	500 円 ※一人あたり 500 円をはまどまへ		
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)			
作成年月日	2012年8月13日	作成者名	勝野真美

第4号議案 第13期(2012年7月~2013年6月) 予算

科目	第9期決算額	第10期決算額	第11期決算額	第12期予算額				備考	
[収入]									
非収益事業費 収益事業費									
会費	0	381,000	450,000			500,000	500,000	運営会員@12,000*16+一般会員@3,000*76+賛助会員@10,000*8	
自主事業	148,146	692,179	576,660	700,000			700,000	はまどま660千円、各事業参加費等	
販売	23,400	241,140	315,888		200,000		200,000	チェーンソー、消耗品販売等	
受託	5,507,325	4,781,555	4,970,855		1,600,000		1,600,000	新治ウエルカムセンター設計981千円、さくらの記憶400千円	
助成金	16,464	1,314,323	2,306,060	2,340,000			2,340,000	みどりの夢(里山レンジャーズ)2,340千円	
寄付金	234,423	422,452	385,379			350,000	350,000	ブルデンシャル生命保険230千円、山仕事活動協賛金	
雑収入	85,966	164,487	23,846		60,000		60,000	講師謝金・製材指導費(@30,000*3)等	
借入金収入		146,895							
当期収入合計(A)	6,015,724	8,144,031	9,028,688	3,040,000	1,860,000	850,000	5,750,000		
前期繰越収支差額	5,982,675	5,365,837	5,557,240				7,548,022		
収入合計(B)	11,998,399	13,509,868	14,585,928				13,298,022		
[支出]									
非収益事業費 収益事業費 管理費 計									
事業 人件費	給料手当	560,000	630,000	380,000			0	主任研究員給料	
	臨時雇賃金	400,000	450,000				0		
	福利厚生費						0		
	法定福利費			2,902			0	社会保険料0円、労災保険料	
事業 経費	旅費交通費	113,310	329,670	87,520	60,000	20,000	20,000	100,000	
	通信運搬費	121,952	213,172	153,055	100,000	20,000	20,000	140,000	電話、IT、郵送料、宅急便、備品送料
	器具備品費	49,800	137,175	893,140	50,000			50,000	
	消耗品費	427,126	116,688	97,368	370,000	20,000	50,000	440,000	里山レンジャーズ320千円、会計ソフト等
	修繕費		9,103	9,745	10,000			10,000	
	印刷製本費	664,125	564,596	2,260	430,000	20,000		450,000	里山レンジャーズ410千円、報告書印刷、コピー代
	調査研究費	25,100	54,100	3,600	20,000			20,000	資料購入、研修会参加
	広告宣伝費			6,000	10,000			10,000	
	会議費	2,190	2,220	17,900	50,000		10,000	60,000	会議室料、茶代等
	保険料	16,036	100,760	107,128	100,000			100,000	グリーンボランティア保険60千円、イベント保険36千円
	諸謝金	1,141,156	1,767,139	210,000	1,100,000	40,000	100,000	1,240,000	里山レンジャーズ1,060千円、新治HP管理、会計ソフト入力
	委託費	2,320,679	2,129,005	3,477,600	170,000	1,350,000		1,520,000	受託事業外注費(新治900千円、さくら330千円)、HP改良150千円
	販売仕入		146,895	142,350		150,000		150,000	
	助成金支出	30,012						0	
管理 費	雑費	400	4,844	1,300	10,000			10,000	
	水道光熱費	54,097	93,600	108,056			100,000	100,000	
	賃借料	474,350	945,000	975,000	200,000		945,000	1,145,000	家賃@78,750*12、システム使用料
	租税公課	37,330	72,500	193,640			75,000	75,000	法人税(70千円)等
	支払手数料	187,499	181,417	136,942			180,000	180,000	税理士謝礼147千円、ネットバンキング15千円、振込手数料
	交際費	7,400	1,344				10,000	10,000	
	諸会費			32,400			20,000	20,000	
	雑費		3,400					0	
当期支出合計(C)	6,632,562	7,952,628	7,037,906	2,680,000	1,620,000	1,530,000	5,830,000		
当期収支差額(A)-(C)	-616,838	191,403	1,990,782	360,000	240,000	-680,000	-80,000		
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,365,837	5,557,240	7,548,022				7,468,022		